

業務の実績に関する評価結果の反映状況一覧

公立大学法人国際教養大学の平成29年度評価結果の反映状況

平成29年度評価における指摘事項	評価項目	平成30年度の業務運営等への反映状況
<p>学生の確保については、県内出身入学者数に係る目標が未達成となっており、達成に向けた一層の取組が求められる。</p>	<p>I-2-(1)</p>	<p>○施策検討・入試区分の見直し 県内学生募集委員会及び入試委員会において、模擬授業の実施及び説明会の開催等、秋田県内からの入学者を増加させるための施策検討を継続的に検討した。その結果、入試改革の一環として、2020年度入試から、秋田県内の高校生を対象としたグローバル・セミナー入試の定員を10名から15名に拡大することを決定した。</p> <p>○入学前教育の充実 昨年度から引き続き、グローバル・セミナー入試の合格者を対象とした入学前教育を、10月～2月の期間に4回実施した。また、EAP教員によるTOEFL®TEST受験対策指導を行ったほか、平成30年度は新たにEAP授業体験を1回実施し、入学後の不安の解消及び入学後に求められる英語運用能力の向上を支援した。</p> <p>○学生募集活動の強化 「アドミッションオフィサー」（現員1名）により、県内高等学校との連携を一層深めた学生募集を継続して行った結果、対象学生1名が合格、入学した。</p> <p>○広報活動の強化 秋田駅東西連絡自由通路の広告スペースを活用し、受験者層をターゲットとしたメッセージ性のある広告やオープンキャンパスの案内等を新たに掲出し、県内での認知度向上と潜在的な志願者の増加を図った。</p>
<p>大学院学生の確保については、教員による大学訪問など入試広報活動に積極的に取り組んでいるが、引き続き収容定員の充足に向けた取組が求められる。</p>	<p>I-2-(3)</p>	<p>○広報活動の強化 新たに大学院のPRポスターを作成し、大学院パンフレットとともに本学研究科と関連した学部・学問領域を持つ大学20校へ掲示を依頼・配布し、認知度の向上と志願者の増加を図った。また、全国6都市における説明会、7月及び9月のオープンキャンパスでの説明会を継続実施したほか、10月にも東京で説明会を実施し、受験を検討している学生が本学教職員から直接受験に関する情報を得られる機会を増やした。その結果、平成30年度は4月と9月を合わせ、30名の定員に対して34名が入学した。</p>